広報しうら

人口と世帯数（9月末日現在）

世帯数	1.102
総人口	4.894
男	2.432
女	2.462

昭和46年10月25日

10月下旬
第54号

編集と発行
青森県市浦村役場
企画室
電話 相内局 1・44 番

第10回青少年のしあわせを守り教育を高める大会

第十回青少年のしあわせを守り教育を高める大会は去る九月二十日、市浦中学校を会場に約二百人が参加して開かれました。大会は四分科会に分かれて真剣に討議されましたが以下は各分科会で話し合われたおもな内容です。

―子どものしあわせを守ろうと熱心に全体会議が行なわれた―

第一分科会

△テーマ＝子どもの意欲を高めるため家庭の役割はどうあるべきか。

意欲的で創造的な子どもの育成は、現代教育の大きな課題である。したがって新しい児童観に立って家庭教育を総再点検してみる必要がある。

創造的な子どもの育成を

①子どもの学習について根本的に考えなおしてみる必要がある。学習はテストや進学の準備などをとらえがちだが、生涯教育の立場から遊びのなかにもあり、なんでもできる子どもになるための学習が本当の学習の意味である。家庭での留意点として

ア、家庭での学習は学校の下請けではないので、出来るだけ自主的な計画を組むよう相談相手になる。

イ、勉強しやすい環境を造り、学習のために生活時間を調整してやる。

ウ、勉強ぎらいの原因として、知能が低い・基礎知識を欠く・よろこびがない・身体の故障等がある。

好きにする方法として、良い点を見つけてやる・あまり高い要求をしない・ほめる・進歩が見られたときはほうびをやる・成積不振のときは慰めの激励をしてやる。

遊びは社会性を身につける

②子どもの遊びについて＝遊びは子どもにとって自然であり、本能である。正しい社会性を身につけるのも遊びである。子ども独自のものであるから、おとなのモラルで遊びを指導すると逆効果を生むことになる。おとなの立場からは、遊び仲間・遊び道具・遊び場所をあたえてやるていどにすべきだ。

遊びの指導として

就学前の子どもは遊べる子どもになるように。低学年―遊びと学習の時間を生活のなかに自ら組めるように。中学年―仲間はずれが一番淋しい時期であるのであまり干渉しすぎない。高学年―遊びの主導権はリーダーや子ども会をとおして中学生―子どもの遊びからスポーツ等へ。

夫婦仲のよい家庭を

③子どもの手伝いについて＝共同生活の一員として生活のなかでは欠かせない。手伝いによって子どもは、社会的態度（奉仕・協力・責任）・勤労の習慣・問題解決能力の伸長・仕事の理解・技術の習得が身につき有能な社会人となり得る。

④子どもの家遊関係について＝子どもは母親との結びつきが最大であり、成長につれて父親との接触も多くなっていくが、父親には母親と違った人生観を求めている。しかし、父親、母親である以前に夫婦としての幸福感を持つことが、子どもの最高のしつけとなる。母親が子どもにかこつけて夫との結びつきが浅くなったら子どもの教育をはばむことになる。

兄弟関係は社会性の基礎となり、けんかも正しく導くことにより一層親和感が深まる。祖父母は子どもの世話をするのはよいが、教育はやはり親がなすべきである。そのために家庭における親の権威を確立する事が大切である。また、祖父母にも多いに研修の機会をあたえる必要がある。

出かせぎで父が不在の子どもは、心の寄りどころがないので、できるだけ話し合いの時間を多く持つべきである。

⑤子どものこづかい銭について＝こづかい銭については年令相応のあたえ方が必要であり、小学校の高学年でほぼ月額六百円ていど。ただし、生活必需品や本類は別に買いあたえる。こづかい帳をつけることが習慣化することにより貯蓄に対する興味も湧き正しい金銭の使い方が身につく。

第二分科会

△テーマ＝子どものための安全指導はどうあるべきか。

①交通安全について＝中高校生のバイクの無免許運転が目立ってきた。これは保護者にも責任がある。中学生にはバイクを持たせないことはもちろんだが、バイクのカギは目の届かない所に保管する。高校生については免許を取得してから使用させるべきだ。

一方、歩行者の事故も多い。なかでも幼児の放任、とび出しは母親の責任に負うところが大きい。道路を歩くときは子どもの右手をしっかり握って右側を歩行すること。正しい歩き方はおとなが模範を示さなければいけない。

路上での子どもの遊びは危険である。特に自転車遊びは危ないので、自分の子どもでなくても注意してやる思いやりが必要だ。しかし、遊びは子どもの最大の喜びだから適当な遊び場の設置が問題になってくる。そのためにはさしあたってグラウンドやあき地の解放を積極的に進め、健全化をはかることも方策である。

プールの建設要望

②水泳事故防止について＝指定された場所で水泳させることがのぞましい。各地区でもやっているが、輪番でパトロールをし事故をなくすることだ。また、水泳場の整備も大切である。ガラスの破片や鉄くずなど散乱しているのを見かけるが、水泳よりもこちらの方が気がかりである。みんなが楽しく泳げるようにするためにプールの設置も必要である。

③非行防止について＝子どもの健全化をはばむものに、親と子の話し合いの場がないのも原因とされている。とくに出かせぎ留守家庭にその傾向がみられる。子どもの声を十分聞いてやってほしい。

悪徳出版物、とくに週刊誌は目をふさぎたくなるものが多い。こうしたものは買わないことであり、子どもの目にはふれさせないことだ。当然、こうした出版物は締め出す必要がある。

第三分科会

PTAは専門活動を活発に

△テーマ＝父母と教師が手を結んで進める実践活動のあり方

教師と父母の会う機会が少ない。当直廃止で会合はほとんど昼で集まりがよくない。また、集まっても懇親の場がない。PTAの会長の顔すらわからない人もいる。

PTAの会合に全員の先生が出席すべきだ。家庭教育の一環として父母と教師が一体となることがのぞましい。教師を知り父兄を知るためには、参観日を有効に活用することも大切である。参観日は自分の子どもを見るだけでなく、みんなが話し合えるテーマを決めて問題を解決すべきだ。それも年間計画に基づいてやらなければ効果がうすい。

教師のPTAに対する意識が低い。実践活動の中味を考えてほしい。学校の方針にしたがって父母が活動をするのではなく、PTA本来の姿に立ちかえってみる必要があろう。

いつの場合の会合でも先生の悩みが出されていない。教師というものの考え方がいろいろな形で出されており、教師の考え方よりも学校の体制の中で縛られている。父母・教師という中では平等でなければならないが、教師はなんらかの形で束博を受けている。

参観日は学校が企画するものであって、父兄が指導するものではない。また、PTAは専門活動を活発にしていく必要がある。子どもの品行のよくない父兄は会合に来ない。反面、集まる人は主として自分の子どものことだけを考えている。もっと広い視野に立って他人の子どもも考えなければいけない。また、出席しない人のためにも伝達してやることも大切である。いわば地域全体のPTAでなければならない。

親からの学校に対する抑圧、地域の父母に対する要求と教師に対する要求がくい違っている。教師が発言するチャンスを多くして、大いに語り合い創意工夫してやるような体制づくりをする必要がある。

PTAの勉強は、第一に自分を高め、第二に子どもをどのようにしたらよいかそれぞれの考えを出し合いながら進めていくことに接点がある。現代をたくましく生きぬいていく子どもを育てるためにも―。

第四分科会

△テーマ＝地域活動における青年のありかた

市浦の青年活動は低調である。青年団、青年学級の組織は各地区に一応あるが青年自身の自覚が足りないことも原因とみられるが、現代の社会は青年が連帯感をもって組織活動できる状勢ではないのではとんどみるべきものがない。

定時制の高校生は働きながら学ぶ場であり年令的にも立派な青年である。さらに卒業後はよりよきリーダーとして村民の期待も大きい。卒先して青年活動に参加すべきである。

青年自身の自覚と奮気を

これまでの古い意識で青年を見ないで。もっと広い意味での社会教育の一環として、青年をみつめ青年をとりまく諸団体も指導の手をさしのべる必要がある。教育委員会、婦人会なども青年に対する期待が大きい割に活動の活発化に対する努力がたりないように見受けられる。また、公民館活動は青年のあゆみと一体のものでなければいけない。

一方、青年自身の自覚と奮気がのぞまれるのはいうまでもない。自分を大切にし、そして団体のなかのよりよき個人となり得る自分をみつめるとともに、社会をみつめる目を育ててゆく努力をしなければならない。そのためには。各団体関係機関、（婦人会、PTA等）と密接な連けいをとりながら、少なくとも年二・三回は合同学習をもち自分と団体を高めることが必要であろう。

犬を飼うエチケツト

◆…かならずつないでおく
◆…登録して予防注射をうける
◆…いらない犬は捨てずに役場へ連絡する

季節のしおり

すっかり日あしが短かくなり、日が落ちてからの寒さが気になるころになりました。秋から冬への変わり目は、からだがまだ寒さに馴れきれないので、夕方の急な冷えこみに、ことしの冬は早めにやって来たのかと錯覚しがちですが、気温は毎年同じような周期で下がってくるものです。

まだ、四囲の自然は秋の気配が濃いのに、立冬（八日）が過ぎると、もう寒さは駆け足でやってきます。立冬というのは、太陽の黄経が二二五度、高度三八度になるときのことで、冬の始まりということです。これから十二月の冬至（二十二日）まで、日の短かさはますます加わり、人の気持や、すぐ目の前に迫ってくる年末をひかえてあわただしさを感じさせるのもこのごろです。

さて、十一月前半のこよみをめくってみよう。

一日＝狩猟解禁・来年二月二十五日までです。

三日＝文化の日（国民の祝日）、文化勲章授章式

八日＝立冬（黄経二二五度、冬の気立ち始める）

九日＝佐藤内閣成立（昭和三十九年）

十一日＝精神衛生普及週間始まる（昭和二十五年精神衛生法施行）

十五日＝お年玉付き年賀はがき売り出し。

それでは、十一月も元気でお過しください。

出かせぎ通信

出かせぎ者と留守家族を結ぶ「出かせぎ通信」第一報を紹介します。これは去る九月二十七日、村が出かせぎ者に送ったアンケートに答えていただいたものです。

父っちゃから元気な便り

1なまえ②住所③事業所名④仕事の内容⑤雇用期間⑥賃金の支払状況⑦勤務時間外をどのように過しているか⑧留守家族に伝えたいこと⑨出かせぎ者として、いま一番考えさせられていること⑩村に対する要望⑪もっとも楽しいこと、苦しいこと。

技能修得をうったえる

①秋田谷清之じょう②横浜市金沢区谷津町③明生電設⑤良い⑥六月〜十一月⑦海岸の散歩、テレビを見る⑧親子ともに元気です⑨村内に思ったような仕事がほしい（六万円〜七円円位）家内一同笑って暮したい⑩明るい村づくり⑪家に帰れる日が楽しみです。

①佐藤孝一②横浜市鶴見区③東京加工④塗覆装⑤四月〜十二月⑥良い⑦食べること、ねむること⑧相変らず元気⑨年老いて出かせぎがてきなくなること⑩道路の整備、外灯の増設⑪夜勤連続の時は苦しい。家族に手紙を書く時が楽しい。

①武田長治男②東京都江東区③石川島幡磨重工業第二工場⑤七月〜十二月⑥良い⑦テレビを見る⑧ありません⑨でき得れば県内で働きたい⑩村長が中心になって集団出かせぎを進めてほしい⑪楽しいことは毎日外人を見ること。二万トン級の船は二十五日位でできあがります。

楽しい月一回の給料日

①葛西三四郎②千葉県市原市③西松建設永田班④団地の整地⑤六月〜十二月⑥良い⑦気ままに過す⑧元気です⑨ありません⑩月に一回村のニュースを知らせてください⑪雨降りの仕事がつらい。

①秋田谷文雄②千葉県市原市③西松建設④団地の整地⑤六月〜十二月⑥良い⑦雑談⑧みんな健康に気をつけて、火災、盗難に注意してください。⑨家族と離れて生活していること。⑩不在中は事故のないようたのみます。⑪楽しいのは月一回の会計

①石岡認②千葉県野田市③津軽工務店④建設⑤五月〜十二月⑥良い⑦テレビを見たり、トランプをしたり⑧元気でやっている⑨地元に仕事がほしい。⑩出かせぎしないで暮せる村にしてほしい。⑪家族から離れていることがつらい。

注文が多い村道の整備

①櫛引岩蔵・櫛引兼登志・今本専五郎②神奈川県川崎市③大豊建設・米道建設④地下鉄（ずい道）雑務⑤四月〜十二月⑥非常に良い⑦気なりに休息⑧友彦〃元気でいるよ。みんなの人気者です⑨若い人は重機運転や溶接等の技術を修得すること。目前に不景気が来ている。労務者もあと少しで終わりと思う。⑩道路の整備、特に奥地の村道を整備してほしい。⑪楽しいことは、入浴と晩酌。

①山田勝由・サナ・石岡静一・はつ②東京都世田ケ谷区玉堤③（株）寺島組④地下鉄工事⑤六月〜十二月⑥良い⑦洗濯、入浴、テレビを見る。⑧ありません⑨技術を身につけること。⑩ありません⑪楽しいのは会計のとき

家族に現場を見せたい

①櫛引由雄②横浜市鶴見区③東京加工④塗覆装⑤四月〜十二月⑥良い⑦寝ること、町を散歩すること。⑧元気です。⑨年老いて出かせぎに行けなくなること家族に働いている所を見せたい。⑩道路を整備してほしい。⑪仕事を終えて寮へ帰るきが楽しい。夜勤連続のときが苦しい。

①藤田礼造・沢田三之助・成田勝雄・伊南国義・成田卓美・伊南義治・佐々木金助・大川円太郎・秋田谷寅四郎②平塚市中原上宿新町③（株）菱中工業④プラスチック製品。屋上水道タンク製造⑤六月〜十二月⑥良い⑦読書、名所、古蹟を見ること、⑧採用条件として月二回家族と電話連絡することに決めているので、直接電話で会っています⑨出かせぎ者の老後の生活、広報の増発をのぞむ⑪故郷のニュースを語り合うのが楽しみです。

①小山内春重②東京都世田ケ谷区③新城建工④建築⑤四〜十一月⑥良い⑦休養⑧元気で働いている。家内とも十一月いっぱいで帰ります。⑨ありません。⑩ありません。⑪自由時間が楽しい

安全で明るい出かせぎを

〜職安とおして正しく就労を〜

出かせぎする人は、事故のない安全な職場に就労し留守家族を安心してすごすことができるようにしたいものです。

▽出かせぎする場合は家族と相談を

自分一人だけが出かせぎに行くのだという考え方でなく、家族とよく話し合い納得のゆく方法で出かせぎをしましょう。

▽出かせぎは、いつでも正しい手続きで

縁故、知人による出かせぎは、とかく労働条件のはっきりしない就労になりがちです。しかも、こうした事業所にかぎって災害事故が起きたり、賃金不払いにあうことが多いのです。

村の出かせぎ相談所の紹介で安全な事業所へ就労しましょう。

▽出かせぎ前に健康診断を

出かせぎは重労働である場合が多く、とかく過労になりがちです。また、出かせぎ先で脳卒中で倒れる人の数も多くなっています。

自分のからだの具合をよく知り、自分に適した仕事につくため健康診断を受けることです

▽安全には、つねに心掛けること

現場の規則とか注意をよく守るように心がけ、働く現場があぶないと思ったら現場の責任者に話して直してもらうことです。

▽もし、ケガとか事故が起きたら

作業中、ケガや事故が起きたらすみやかに事業所の責任者に労災保険の手続きをとってもらってください

▽賃金の不払いがある場合は

働いた賃金は、直接、自分が事業所から受け取ることになっています。もし、事業所が賃金を支払えない場合は、「出稼労働手帳」に未払いの内訳を事業所の責任者に書いてもらい確認しておくことです。約束の期日に請求しても支払ってもらえない場合は一日も早くこのことを事業所のあるところの労働基準監督署に届け出て賃金を受け取るようにすることです。

なお、出かせぎ先で困ったときは、本県事務所や出かせぎ相談所に気軽に相談してください。

お知らせ

燃えないゴミは 毎月二十日収集

ご不便をかけていた「燃えないごみ」の収集を毎月二十日に行なうことになりました。

・金属類、ガラス類、灰土土砂類などはあき袋、あき箱に入れ、なわ、ひもをかけて毎月二十日の朝午前八時までに、これまでの収集場所へ置いてください。

また、「燃えるごみ」は収集日以外に収集場所へ持っていかないように。場所を提供している方に大変ごめいわくをかけておりますので、かならず、収集日の朝に運ぶようにしてください。

なお、ごみを入れる袋は各出張所または役場でお求めください。価格は五〇枚で二五〇円です。

出かせぎの前に 年金の手続きを

収穫も一段落し、出かせぎに出かける人も多いと思います。

出かせぎ先ではたいてい厚生年金をかけることになる人が多いと思います。そのような場合は国民年金を一時中断しなければなりませんので、やめる手続きをしてからお出かけになってほしいものです。

両方に入っていても、片方からしか年金は支給されませんし、あとでかけ金をお返しすることになり、手続きもめんどうです。

お出かけになる前に、年金係にも顔をみせてください。

郵便番号は 正しくはっきりと

郵便物の区分けに郵便番号制をとり入れてから、ことしで三年目になりました。おかげさまで郵便番号は九〇%台に定着しつつあります。

このたび郵便番号を書いてある手紙などは、宛名の都道府県名を省略してよいことになりました。郵便番号によって都道府県名がわかるからです。ただこのためには、郵便番号を正しくはっきり書いていただかなくてはなりません。

このため各ご家庭に新しい郵便番号簿をお配りいたしました。年賀はがきの時期も近づいております。十二分にご活用くださいまして正しくはっきり郵便番号を書いてくださるようお願いいたします。

保健婦による 健康相談日

▽十一月八日（月）＝十三公民館

▽十一月九日（火）＝脇元民館

▽十一月十日（水）＝磯松公民館

右いずれも午前十時から午後二時まで。

NHK映画 フイルムのご利用を

NHKの映画フイルムは学校、その他の団体が開催する無料の映画会などで上映していただいております。フイルムは十六ミリ光学録音で一回の貸出数量は三本以内、貸出期間は一週間以内です。

利用ご希望の際は、NHK弘前放送局に映画フイルム一覧表を用意してありますので、ご参照の上、借用申込書を提出ください。

産米の補正は 集荷業者へ

ことしの産米政府買い入れ数量の指示に対する異議の申し立て（補正）は、本年産米から指定集荷業者をとおして村長へ提出することになりました。

◎十一月末日までに登録業者へ決定通知をします。

紙上相談室

老令年金を繰り上げ請求するといくら減額されるか

問 六十五才から支給される老令年金が六十才から六十四才までの間に繰り上げ請求をした場合、減額されると思いますが、いくら減額されて支給されるものでしょうか。（脇元・高令任意加入者、63才）

答 老令年金の資格を満たした時には、六十才以後は六十四才までの間ならば、いつでも支給を希望したときから老令年金がうけられます。この場合には六十五才からうけるはずの年金の額から一定の割合で減額されます。つまり、六十才以上六十一才未満のときは、六十五才から支給される老令年金の五八%、六十一才以上六十二才未満のときは、六五%、六十二才以上六十三才未満のときは、七二%、六十三才以上六十四才未満のときは、八〇%、六十四才以上六十五才未満のときは、八九%の率を乗じた額が支給されます。

この繰り上げ請求によって支給される老令年金は、六十五才から支給される老令年金を早くもらう減額年金ですから、繰り上げ請求によって老令年金を受ける権利が発生し、その受ける額も確定することになり、六十五才になっても本来の老令年金の額に増額するという性格のものではありません。したがって死亡するまで変らないことになります。

なお、病弱等のため所得がない人などはともかく、平均余命の伸びている昨今、早く年金を受けることは一般的にいって得にならないこともあります。

くわしいことは、民生課国民年金係でお聞きください。

旧軍人・軍属のみなさんへ

恩給の受給権が広がりました

恩給法の改正により、次の方にも一時恩給が支給されます。

◇下士官以上の旧軍人（下士官としての在職年は加算年のみ一年以上）旧軍人もしくは旧準軍人として、または旧軍属から旧軍人になった者及び旧軍属または下士官以上の旧軍人から旧軍属になったもので引続く実在職年が三年以上七年未満のもので失権事由のないものに一時恩給を支給します。本人の死亡時には遺族に一時扶助料が支給されます。

棒掛け・はさ掛け乾燥で米の品質を高めよう

農家のみなさん、毎日の農作業ご苦労さまです。

ご承知のように稲の乾燥は良質米をつくるポイントになります。乾燥法には架（はさ）掛、棒掛、島立とありますが、本村では大部分が島立乾燥です。自然乾燥ですぐれているのは、架（はさ）掛、棒掛で乾燥効率も高く、ムラがありません。

島立乾燥は乾燥効率が劣り、とくに内側の乾燥ムラが大きく、乾燥期間が長くなります。このため胴割れを中心とした被害粒の増加が多く品質が低下します。できるだけ島立乾燥以外にしてください。また機械乾燥も操作技術の不慣れで胴割米、過乾燥、異臭米の発生につながるので正しい操作技術を身につけましょう。

脱穀・調整

①天候がくずれやすい時期なので稲を雨にあてないようにすること。

②脱穀機の回転数が早いと胴割米がでるので、回転数をおとすこと。

③土砂や異物が混入しないようにする。

④もみずりはもみ乾燥機械調整、選別機の調整など細心の注意をとして品質の向上につとめること。

なお、有機質源としての堆肥、速成堆肥の施用は良質米生産に重要なことですから、稲わらの焼却はやめてください。

広報番組のご案内

県政の窓 RABテレビ 毎週日曜日午前八時四十五分から九時までの十五分間

県からのお知らせ ATVテレビ 毎週月・水・金曜日午後五時四十五分から二分間

県広報タイム RABラジオ 日曜日を除く毎朝午前七時五十分から八時まで十分間